

東日本大震災
対策本部情報

113号

2011/08/4

釜石市箱崎町内会会長から、釜石支部に御礼状！
「震災発生当初からの支援、
ありがとうございました」

東労組は、いまも釜石ボランティア活動を継続して取り組んでいます。釜石市箱崎町の町内会会長から御礼状が釜石支部に届きました。とりわけ発生当初の生活物資支援等に対し感謝されています。箱崎町は津波被害が甚大でまだまだ復興には時間がかかると思います。前に向かって頑張っていこうという箱崎町の皆さんに、さらに支援・連帯し一日も早い地域復興を実現していきましょう！

JR東労組
盛岡地本釜石支部
執行副委員長

上居 卓巳 様

盛夏の候、暑中お見舞い申し上げます。
皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、この度の東日本大震災に際しましては、早々に生活用品、医薬品等の支援物資や温情溢れるお見舞い、お心遣いを賜り、ありがたく厚く御礼申し上げます。
ご承知の通り今回の震災で当地(箱崎町)は甚大な被害を受けましたが、震災後4カ月で仮設住宅の建設も完成し、少しずつではありますが復興の兆しが見え始めてきています。しかし、まだまだこれから町内会活動の立て直しや活性化、町内の再建復興計画に色々と課題を残しておりますが、その課題解決に頑張って邁進する覚悟です。
これまで震災対応に追われて御礼並びにご報告が大変遅くなりましたこと、どうかご容赦いただきたく存じます。
未筆ではありますが、皆様におかれましてはご自愛くださいませ。

平成23年7月
釜石市箱崎町内会
会長 小林 伸行

釜石支部副委員長・及川さんの新聞投稿
岩手日報に掲載されました！

釜石復興、仲間を取り組む
及川裕一郎 50歳 宮古、盛岡の仲間がい
(釜石市 会社員) とこの家に流れ込んだ
大震災後、叔母とがれき撤去をしましよ
いとこが家に来た。お うと言ってくれた。
嫁さんの姿がなく、逃 私たちは釜石市のボ
嫁されたと言われ、い ランティアセンターに
どこは悔しい気持ちを持 登録し、依頼された作
話してくれた。 業を行っている。5月
私はこれから何に向 からは東京、大宮、高
かっていくか考えた。 家族を守り、大震災で
困っている人たちの手 伝いができないかと考
えているとき、釜石、

2011.8.3

崎の仲間も2泊3日で
釜石と鉄道の復興に向
け行動した。
大震災後に娘と娘の
友人が避難所へ行き、
お手伝いをしたことを
聞き、うれしく思った。
釜石の復活のため、家
族、仲間と今後も行動
していきます。



鉄道の復旧を通じた地域の復興のため
全組合員が心をひとつに前進しよう！